



都市整備部 公園スタジアム課 技師
(公益財団法人埼玉県公園緑地協会 技術部施設担当 技師)

新村 侑菜 niimura yuna

異動歴

平成30年4月採用 都市整備部 営繕課
大規模施設担当
令和2年11月 都市整備部 越谷建築安全センター
建築確認担当
令和5年4月 現所属

ワークライフバランスについて

休暇を取りやすい雰囲気があるため、プライベートの予定も立てやすいです。長期で休暇を取得し、海外旅行や温泉旅行に行き、リフレッシュすることもあります。

また、時間外勤務もほとんどないので、仕事がある平日の夜も趣味の時間を確保することができています。

埼玉県職員を志望した理由について

生まれ育った埼玉県で建築に関わる仕事がしたいと思い埼玉県職員を志望しました。将来は、まちづくりや景観に関わる仕事に携わりたいと思っています。

埼玉県職員は定期的に異動するため、営繕や建築行政、都市計画などの業務に携わることができ、多様な経験ができることも魅力の一つだと思います。

今までの仕事で印象に残っていること

初めて配属された営繕課で、公園の管理棟の新築工事を担当したことです。工事の途中で設計が変更になったことや、多くの人が関わっていたため予算の調整などに奮闘しました。異動になり、最後まで携わることはできませんでしたが、完成後に活用されているところを見た際はうれしい気持ちになりました。

埼玉県職員を目指す方へメッセージ

入庁した当初はこの仕事を続けることができるかとても不安でしたが、技術や専門の知識を学ぶ研修も多くあり、周りの職員にサポートしていただきながら現在も続けることができています。

筆記試験はもちろんですが、面接試験で自分の思いをきちんと面接官に伝えることが大切だと思います。一緒に働ける日を楽しみにしています。



都市整備部 越谷建築安全センター 建築安全担当 技師
五島 浩己 itsushima koki

異動歴

令和3年4月採用 現所属

現在の仕事内容について

主な業務は、窓口での建物に関する証明書の発行や書類審査です。書類審査では、マンションや工場等の大規模な建物を建てる時にどれだけ環境に配慮しているかを評価したり、建物の管理者から提出される調査報告書から維持管理に問題がないかを確認しています。他にも解体工事のバトルロール等の出張もあり、幅広く業務を行っています。

建築職のため、専門的な内容がほとんどですが、仕事をこなしていくうちに知識が増えていくことがモチベーションにつながっています。また、県民の暮らしを安全・安心なものにするために働けることが今の業務の魅力です。

one day schedule

8:15 出勤	12:00 昼食
8:30 朝礼	13:00 提出された書類の審査 電話・窓口対応
8:35 1日のスケジュール確認 メールチェック	16:00 現場調査のための準備
9:00 現場調査の報告書作成 電話・窓口対応	17:30 退庁
10:00 担当内打合せ	

職場の雰囲気について

職場に同年代が少ないため、仕事についていけるか不安でしたが、周りは優しい先輩ばかりで、仕事だけでなくプライベートの相談にも乗ってくださり、入庁時から心強かったです。

今までの仕事で印象に残っていること

建築基準法に基づき、建物に違反等がないかを確認する業務を初めて担当した時のことです。現地調査や写真から状況を判断して一つずつ確認するのですが、わからないことが多く、スムーズに進めることができて苦勞しました。

しかし、先輩からのアドバイスや過去の事例、専門書で勉強し、ようやく業務が完了したときには大きな達成感を得ることができました。また、難しい業務に挑戦したことで、知識が増えただけではなく、必要な情報を資料から見つけ出す能力も身についたので、自分の成長につながったと思っています。これからも失敗を恐れず、いろいろなことに挑戦したいです。

子育て支援制度を活用

県土整備部 道路街路課 県道担当 技師 総合土木職

井村 優美 imura yumi

異動歴

平成28年4月採用 県土整備部 さいたま県土整備事務所
河川・鴻沼川改修事業担当
平成31年4月 現所属

育児休業の取得前に感じていた不安と復帰後の感想

つわりがひどく、休むことが多かったため、仕事を思うようにこなせない日々が続く、周囲に負担をかけてしまうことが不安でした。しかし、周囲の職員が親身になって業務を手伝ってくださったり、子供が出来た時のエピソードを話してくださったおかげで心が軽くなりました。また、妊娠してからすぐ、私の仕事については担当内で共有しながら進めることができたため、スムーズに産休に入ることができました。産前勤務最後の日には、温かく送り出してくださり、とてもうれしかったです。

産後の復帰について、長く育児休業を取得すると仕事の感覚が薄れてしまうのではないかと不安があり、子供が0歳の子に保育園に入れて、早めに職場復帰しました。産前に復帰の希望時期や、復帰後の時短勤務希望を伝えていたため、復帰後の仕事は時短勤務が可能な量に調整してくださっていました。時短勤務の制度や周囲のサポート体制のおかげで、復帰後も無理なく子供と一緒にいる時間が取れていると思います。



埼玉県職員を目指す方へメッセージ

子育てに関する制度が充実しているだけでなく、職員がお互いサポートし合う雰囲気があり、実際に制度を有効に活用することができます。男性も育児休業を取得しやすく、皆さん無理なく子育てをしています。個人のライフステージに合った働き方を見つけて、キャリアを積み上げることができます。育児や趣味など、プライベートを充実させながら、一緒に仕事ができる日を楽しみにしています。

one day schedule

7:45 保育園に子供を預ける	15:00 道路整備に関する協定文書の作成
8:15 出勤	16:15 退庁(部分休業1時間)
8:30 1日のスケジュール確認 メールチェック	17:00 保育園にお迎え
9:00 庁内関係課との打合せ	17:30 帰宅
10:00 予算に関する資料作成	18:00 夕食
12:00 昼食	19:30 入浴
13:00 問合せに関する調査、回答	21:00 就寝(寝かしつけ)
14:00 国担当者との意見交換	

経験者職員採用試験を経て入庁

都市整備部 営繕課 建築第一担当 技師 建築職

鳴坂 拓 narusaka taku

異動歴

令和4年4月採用 現所属

前職の仕事内容とその経験がどのように生きているか

前職の民間企業では新築の戸建住宅・賃貸マンション・オフィスビル・テナントビルの設計をしていました。現在は、主に児童養護施設・高等学校などの県有施設の改修工事における工事・設計監理をしています。そのため、前職で培った設計の知識や経験は工事・設計監理をするときはもちろんのこと、現場で対応する際などにも生かしています。

また、これまでは改修工事の経験が全くなかったのですが、周囲の仲間から教えてもらいながら業務をこなし、逆に前職での知識や経験を伝えたりすることで、自分だけでなく仲間と共に知識向上ができています。

埼玉県庁への転職を決意した理由

結婚を機に埼玉県に転居したことや、子供が生まれたときにワークライフバランスの取れた働き方をしたいと思ったことがきっかけです。埼玉県は子育て支援制度が充実しており、育児休暇を取得しやすい点に魅力を感じました。

また、様々な職種の職員がいるため、新たな視点や知識を得ることができるのではないかと考えたことも転職を決意したきっかけになりました。

現在の仕事内容について

現在の仕事は県有施設の改修工事における工事・設計監理、工事・設計発注業務などです。県有施設はひとつとして同じものはなく、また利用する人や環境も異なるため、工事の際は最適な方法を考える必要があります。そのため工事が完成し、施設の方々に喜んでいただけたり、満足のいく工事ができた際には非常にやりがいを感じます。

埼玉県庁に入庁して、働き方がどのように変化したか

職員同士がサポートし合う職場風土が根付いているため、休暇を取得しやすく、無理のない働き方ができるようになりました。県職員になる前は常に全力疾走してきた感覚だったのですが、現在は途中で一息ついて落ち着くことができます。そうしたことができるのも、働き方がきちんと整っており、全員でカバーをしあえる環境だからだと思います。子供の体調不良の際もテレワークなどで対応でき、とても働きやすいと感じています。

